

考古学教材「縄文土器はすごいぞ －歴史の時間を感じる－」指導案

※対象 小学校高学年～高校生

教材	縄文土器1個、縄文土器片45個、マグネット年表(長さ3m・裏面磁石)、 縄文土器写真パネル
ねらい	土器の発明によって生活が急激に豊かになったことを知り、縄文人の進歩を学ぶ。 keywords: 土器、鍋、食材と生活、

	指導・主眼	教材
歴史時間 を感じる	縄文時代の前に石器だけの時代があった。今から1万年以上も前になる。それがどれくらい前なのか、実感する。 ・ロング年表を黒板に貼って、縄文土器が垂出現した15000年前が平成30年間と比較するなど、児童・生徒の身近な事象で歴史の時間の長さを考える。	マグネット年表
縄文土器	写真パネルを見ながら、縄文土器の特徴を確認 指導のポイント ・深鉢は鍋の用途、浅鉢は盛り付けの用途－ ・寸胴の器形は共通 ・模様が多彩、縄文だけではない。	縄文土器写真 パネル
縄文土器 に 触ろう	実際に出土した縄文土器片を 【A触る】 どんな感じ・・・縄文があるかな、他にどんな模様があるかな 班別で考えて意見を出し合おう 指導のポイント ・縄による文様、貝による文様、竹による文様、縄文だけではない	縄文土器片
	【B観察する】 内側あるいは外側には何がついているかな 指導のポイント ・内側の黒いものは、鍋のおこげ ・外側の黒いものは、炉の火で炊いた時のスス	
土器は すごい	・土器を作り、生活がどう変わったか、みんなで考えよう 指導のポイント ・鍋として使える → 肉が柔らかくなる アクのあるものがなくなる ・容器になる → 物を保存できるようになった ・意味のある文様や自由な造形物を作って、豊かな心を持たせよう	※食べられるものが 広がった ※他にもあるかも みんなで考えを 出しあおう

※使用に際して、

- 1 【A触る】と【B観察する】は、どちらか一方でもOK。
- 2 小学生は、観察したことを食材の広がりということでまとめてもよい
- 3 「土器の発明はすごい」は別授業でも可、小学生では少し難しいか。